

# 寅さん歩 その 19 バーチャルウォークで 奥州街道竜飛岬までー10



平野 武宏

寅次郎、下野国（現在の栃木県）宇都宮宿から、さらに北に進み、奥州街道終点の陸奥國（現在の青森県）の三厩（みんまや）宿、そして津軽半島最北端の竜飛岬までの長いバーチャルウォークに挑戦しています。

バーチャルウォークとは毎日の散歩などで歩いた距離をコースシートの 2km 単位で進んでゴールを目指します。コースシートはHPのYR・四季の道をご覧ください。

奥州街道竜飛岬までは 2020 年 12 月～2021 年 8 月に歩いて、寅さん歩 352 東京の博物館めぐり-39～寅さん歩 373 谷端川の流れを歩く-5 の内で経過のみを報告しましたが、今回は各宿場を紹介しながら歩きます。

徳川家康が整備して幕府が直轄した「五街道」の奥州道中（奥州街道）は日本橋から白河宿までで、白河宿から北の奥州街道は幕府の勘定奉行が管理し、各藩が支配しました。白河宿より北の各宿場については参考文献が少なくネットなどで調べた情報です。写真は無料画像を使用します。

前回は福岡宿から野辺地宿まで歩きました。今回は馬門宿から奥州街道の終点の三厩宿まで歩き、バーチャルウォークのゴールの竜飛岬まで行きます。

[馬門宿] 青森県上北郡野辺地町

最寄駅 青い森鉄道線 野辺駅

2025 年 4 月 10 日馬門宿（まかど）宿  
(日本橋から 712km) に到着しました。馬門宿は盛岡藩（南部藩）と津軽藩（弘前藩）の藩境で番所が置かれました。戊辰戦争では敵味方に別れて野辺地戦争を繰り広げています。写真右は現在の町並みです。



## [小湊宿] 青森県東津軽郡平内町

最寄駅 青い森鉄道線 小湊駅

2025年4月17日小湊（こみなど）宿（日本橋から726km）に到着しました。小湊は海岸線ではなく、夏泊半島のつけ根の盛田町と小湊川に挟まれた土地に発達した宿場町です。写真右は現在の町並みです。



## [野内宿] 青森県青森市

最寄駅 青い森鉄道線 野内駅

2025年4月26日野内宿（のない）宿（日本橋から744km）に到着しました。野内宿には津軽三関の一つがあり、町奉行が置かれ、盛岡（南部藩）の人や物の移動を監視しました。野内の地名の由来はアイヌ語の「ノブ・ナイ」で野原の沢のことです。



## [青森宿] 青森県青森市

最寄駅 J R 東北新幹線 新青森駅

青い森鉄道線 青森駅

2025年4月30日青森宿（日本橋から752km）に到着しました。

青森市は現在の青森県の県庁所在地です。

津軽藩主は南部藩の家臣だった津軽氏が独立して、いざこざが絶えませんでした。最大の商業都市として廻船問屋や豪商の屋敷がありましたが、第二次大戦の青森大空襲と近代化でその姿は残っていません。写真下左は現在の町並みです。写真下右は肉厚の甘いホタテです。寅次郎、青森で食べた味が忘れません。



### [油川宿] 青森県青森市

最寄駅 JR 奥羽本線 油川駅

2025年4月30日油川（あぶらかわ）宿（日本橋から758km）に到着しました。油川宿は奥州街道と羽州街道（福島桑折から山形・秋田を経て青森へ）の合流地点で交通の要衝として重要な宿場です。弘前藩の重要な湊として北前船の寄港地でした。



### [平館宿] 青森県東津軽郡外ヶ浜町

最寄駅 J R 津軽線 蟹田駅

2025年5月15日平館（たいらだて）宿（日本橋から792km）に到着しました。



写真上左は 1847 年（弘化 4 年）オランダの捕鯨船が来たため翌年に造られた平館台場跡です。写真上右は現在の町並みです。

[三厩宿] 最寄駅 JR 津軽線 三厩駅

2025 年 5 月 29 日奥州街道の最終宿場  
三厩（みんまや）宿（日本橋から 818km）  
に到着しました。

宇都宮宿から 211 日かかりました。

1 日平均約 3.3km 歩きました。

三厩の名は郷土史によると東北地方から  
逃ってきた源義経がここで 3 頭の駿馬を  
もらい北海道へ渡ったとの義経伝説に  
由来するとのことです。

三厩宿は蝦夷地への湊として栄えました。

奥州街道の最終宿場は青森宿ではと思っていましたが、三厩宿の位置づけが  
理解できました。

ここまで來たので津軽半島の最北端の竜飛岬まで歩きます。



[竜飛岬] 青森県東津軽郡外ヶ浜町 最寄駅 三厩駅からバス利用

2045 年 6 月 5 日津軽半島の最北端の竜飛岬（日本橋から 830km）に到着しま  
した。竜飛岬は石川さゆり「津軽海峡冬景色」の歌詞にもあります。  
寅次郎はカラオケで、この歌を沢山歌わせていただきました。



竜飛岬とはアイヌ語で「突き出した地」の意味があるそうです。  
竜が飛んでもしまうほど強い風が吹くからだという説もあります。  
旧奥谷旅館は作家の太宰治、版画家の棟方志功、津軽三味線の名人 高橋竹山などのゆかりの宿です。現在は「外ヶ浜町龍飛岬観光案内所」になっています。なお、国土地理院は龍飛岬の表示を使い、他では竜飛岬の表示を使っているそうです。

平野 寅次郎 拝